

Jamf parentは、お子様の端末内のアプリや機能を制限できるiPad、iPhone(以下iOS端末と呼びます)専用のアプリです。

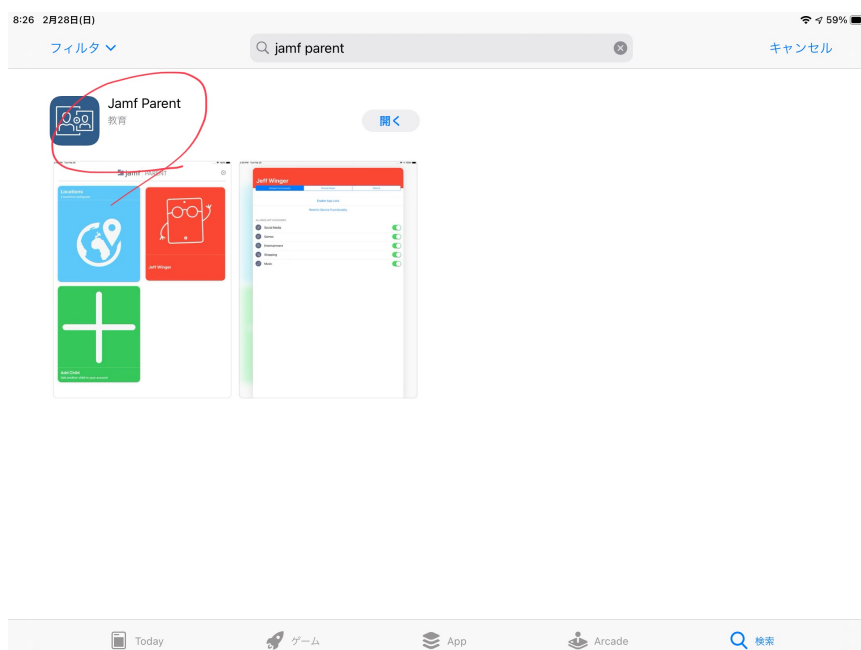
※AndroidやWindowsの端末では使用できません。iOS端末をお持ちで無い場合は、お子様のiPad本体、スクリーンタイムで制限をかけてください。

平日夜間や週末の使用について、ご家庭内のルール設定ができます。

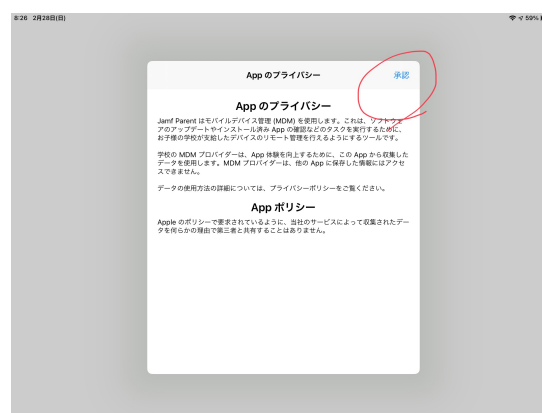
※学校の授業時間は制限が解除されるように、学校側で設定しています。

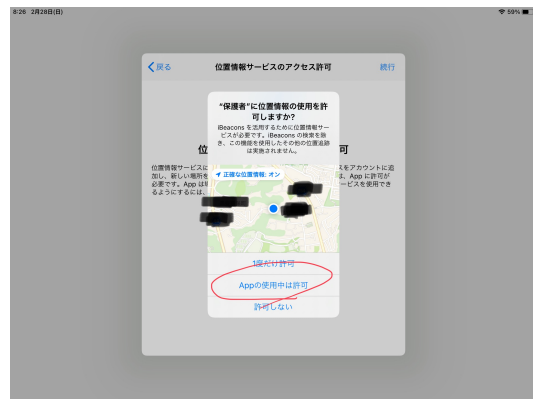
ここからはダウンロードと使用方法について説明します。

①ご家庭のiOS端末のApp Storeで「jams parent」を検索してダウンロードしてください。



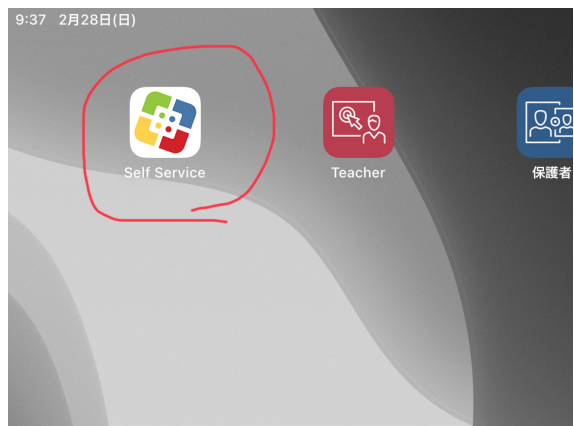
②Jamf Parentを起動します。端末によっては「保護者」という名前になっているかもしれませんが、起動すると、いくつかの設定項目が出てきますので、承認やOKで進めてください。



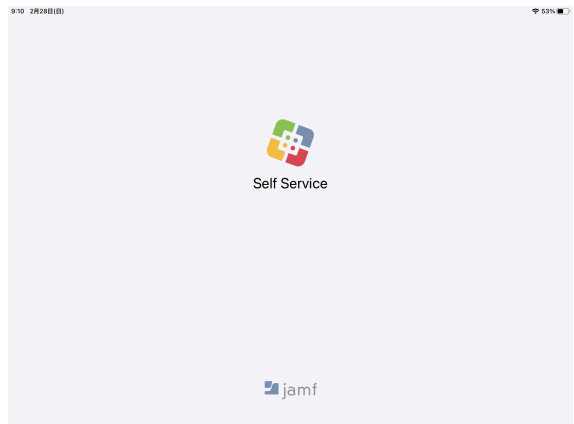


③続いて、お子様のiPadをアプリに登録します。

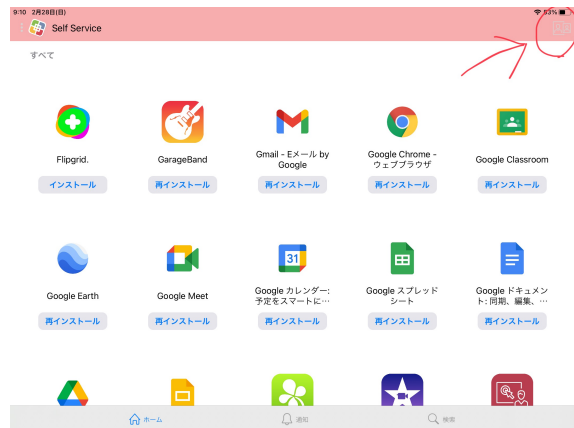
a. **学校から貸与しているiPad**に入っている「Self Service」というアプリを起動します。  
 すでに入っていますので、ダウンロードする必要はありません。



b. このような画面でしばらく待つと、画面が切り替わります。



c.右上にある薄いグレーのアイコンをタップします。



d. QRコードが表示されます。  
(右のQRコードは読み取れないように加工してあります。)

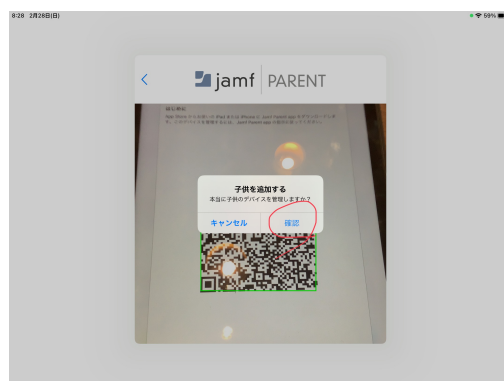


e. QRコードを表示したままご家庭のiOS端末にもどります。

「開始する」をクリックし、QRコード読み取りに必要な操作を進めます。



f. QRコードを読み取ると、追加することを聞かれるので確認します。



お子様の名前が表示されていれば成功です。兄弟がいる場合はそれぞれのiPadでQRコードを表示して追加登録してください。



※このアプリは本校の様にJamfというシステムで管理しているiOS端末のみに適用できます。一般購入の端末は管理できません。

## ～Jamf Parent操作方法～

ここでお伝えする操作方法是一例です。

お子様の名前をタップすると（サーバと通信するため、タップできるまでに時間がかかる場合があります。）

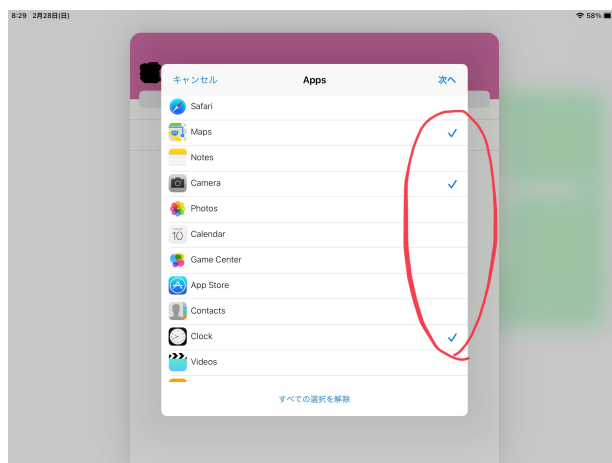
「許可されたアプリ」「デバイスルール」「デバイス」の3項目がでてきます。

①許可されたアプリ...家庭で使用させるアプリを許可、使用させないアプリやそのカテゴリーを許可から外すことで、機能に制限をかけることができます。ゲームを許可しない、ソーシャルメディアのアプリを制限するなど、一括で設定することも可能です。

②デバイスルール...時間によって、使用できるアプリを制限することができます。複数のルールを設定することもできるので、組み合わせ次第で平日の夜はゲーム禁止、土日は何時から何時までは禁止、などの制限をかけることができます。

### ルールの作り方

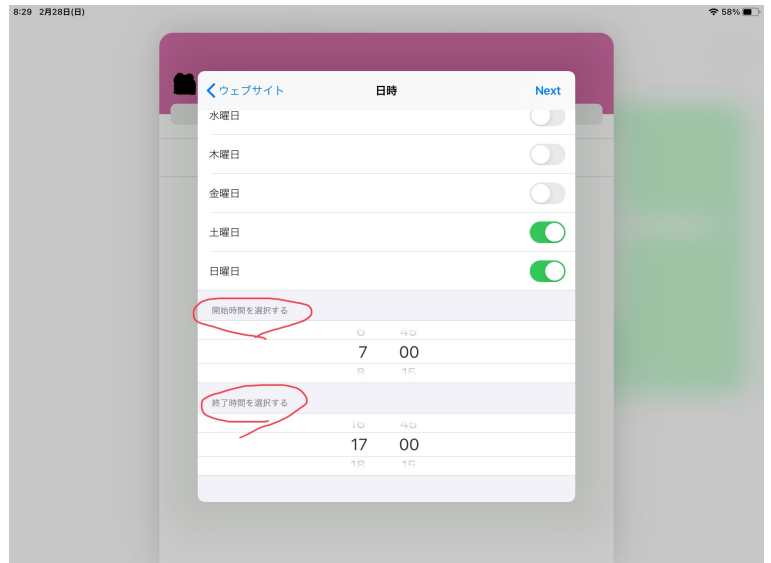
a.ルールの作成をタップすると Apps（アプリ）を選択する画面がでてきます。ルールの時間内に使用を許可したいアプリを選択します。右の画像では地図、カメラ、時計のみ許可しています。



b.閲覧を許可したいウェブサイトを追加します。追加していないウェブサイトはブロックされます。

Safari（インターネットのアプリ）を許可していない場合、設定していてもウェブサイトを見ることはできません。

c.ルールの適用日時を設定します。右の画像は、週末の朝7:00から17:00まで適用される設定です。



ルールを作成すると、（適用時間内であれば）即時適用されます。右の画像のように、許可したアプリしか表示されず、他のものは見えなくなり使えません。



③デバイス...iPadの情報が見られます。充電の残量やOSのバージョンなどです。

※Jamf Parentには、子供の端末が学校に到着したら通知を送る機能もありますが、本校ではこの機能を有効にできないため使えません。あらかじめご了承ください。

Jamf Parentアプリの使い方などでお困りの場合、情報担当の中村、清水までご相談ください。